

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立港町小学校
(両城中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	—	—
令和5年度	+7.8	+5.5
令和4年度	+4.4	+1.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

科目	重点課題	改善の方策	検証
<p>国語</p> <p>本校 <u>75%</u> 全国 <u>67.2%</u> 県 <u>69%</u></p>	<p>◎調査方法を提案している文章であると捉えてしまい、調査で明らかになったことを整理して説明している文章であると捉えることができず、提案する文章や説明する文章などの種類とその特徴について理解していない。 (設問1四) (平均正答率 76.5%)</p> <p>◇漢字を文の中で正しく使い、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。【書くこと】【言葉の特徴や使い方に関する事項】</p>	<p>◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができるように説明的文章の読み取り方を段階的に指導する。また、高学年では、いろいろな種類の文章に触れさせ、その文章の特徴について理解できるようにする。</p> <p>◇普段から漢字を用いて文章を書かせるとともに、用例を多く取り上げ、使い方に慣れさせる。また、文章や図表などから必要な情報を取捨選択し、自分の考えを表現する場を設定する。</p>	<p>◎全国学力(設問1四)(第5学年, 1月) 目標 80%→結果 87.1%</p> <p>◇標準学力調査(全学年, 12月) 目標 全国平均との差+5.0→結果+4.8</p>
<p>算数</p> <p>本校 <u>68%</u> 全国 <u>62.5%</u> 県 <u>64%</u></p>	<p>◎示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することに課題がある。(設問3(2)) (平均正答率 52.9%)</p> <p>◇図形について、構成要素を基に解が適切かどうかを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。【図形】</p>	<p>◎日常生活の場面を式に表したり、式を場面と関連付けて読み取ったりすることを通して、問題の解決に式を用いることができるようにする。また、苦手な児童には話型を示し、式や言葉を用いて説明したり記述したりすることに慣れさせる。</p> <p>◇与えられた条件を基に、演繹的な見方・考え方を働かせ、言葉や数を用いて説明する場を設定する。</p>	<p>◎全国学力(設問3(2))(第5学年, 1月) 目標 60%→結果 90.3%</p> <p>◇標準学力調査(全学年, 12月) 目標 全国平均との差+5.0→結果+2.5</p>

【来年度に向けて】

国語科では、文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について児童が理解することができるような展開になるように授業づくりを行う。算数科では、授業の中で、式や言葉を用いて説明したり記述したりする場を設定し、式や言葉を用いた説明や記述に慣れさせる。また、帯タイムに設定したスキルタイムで、基礎・基本的な計算力を身に付けさせる。